

# 重い扉が開いた!!

特別支援学校  
超過密・大規模化

## 「設置基準策定へ検討中」と文科大臣

### 山下芳生参院議員の質問に明確答弁



### 特別支援学校（養護学校）にだけ なかった「設置基準」

#### 《設置基準》

学校教育法第3条で、学校を設置するものは、「設備、編成その他に関する設置基準に従い、これを設置しなければならない」と定められ、幼稚園から小中学校・高校・大学・各種学校まで全ての学校に設置基準が策定されています。ところが特別支援学校だけ設置基準がないために、子どもたちが急増しているのに学校新設をしないため、子どもたちは詰め込まれています。

特別支援学校に設置基準を設ける運動は、学校関係者や保護者らが粘り強く運動に取り組むとともに、日本共産党も連携して国会で幾度も質問。また日本共産党滋賀県地方議員団による政府交渉でも滋賀県内の実態を紹介しながら、毎年繰り返し改善を求めてきました。それだけに今回の「設置基準」策定の動きは「重い扉が開いた」「長年の運動の成果だ」



### 粘り強い運動と交渉要望 連続する国会質問が実った

特別支援学校（養護学校）にだけ学校設置基準がないために、超過密化・大規模化が常態化するなど子どもたちに「学びの保障」ができていない問題で、日本共産党の山下芳生党副委員長・参院議員が11月17日、参院文部科学委員会にて「現状を打開するために設置基準を策定すべき」と求めました。萩生田光一文科大臣は「中教審の答申をふまえて策定へ検討している」とその必要性を明確に答弁しました。山岡光広議員も粘り強く取り組んできました。



日本共産党地方議員団の政府要望でも訴え（2018年10月）

「よりよい設置基準となるようさらに運動を」と歓迎

#### この問題を取り上げた国会質問

2010年4月21日	宮本岳史（日本共産党）
2015年3月10日	斎藤和子（日本共産党）
2015年3月10日	八木哲也（自由民主党）
2016年2月25日	本村伸子（日本共産党）
2016年4月14日	田村智子（日本共産党）
2018年12月6日	山本太郎（自由党）
2019年3月25日	山下芳生（日本共産党）

迎の声があがっています。山下参院議員は、文科大臣に設置基準策定の必要性を確認したうえで、1991年の開校時103名だった滋賀県立草津養護学校の児童生徒が来年4月は400名と大規模に。そのため障害児の成長発展に悪影響を及ぼしている実態を示し「これは放置してはならない」と改善を求めました。これに文科省は「大規模化のみをもって悪影響を及ぼしているとは思えない」との認識を示しましたが、文科大臣は「全国平均が110名ということなので400名は望ましいということではない。先生の目がゆきとどく特別支援学校にしていくことが望ましい」と答弁しました。

### 議会選出の監査委員の任終わる



昨年11月の臨時議会で議会選出の監査委員に選任され、申し合わせにより今年10月末で任期を終えました。

監査委員は、代表監査委員と議会選出監査委員の2人。毎月病院や上下水道などの企業会計と一般会計の歳入歳出状況をチェックする「例月出納検査」をはじめ、年一度各部局を対象に行う「定期監査」、さらにテーマを決めた「行政監査」や「工事監査」、7月には前年度各会計の「決算監査」があります。歳入歳出の正確さだけでなく、大切な税金が市民のいのちと暮らしを守る施策に使われているか、議会での議論が活かされているかなどの視点から監査しました。ご協力いただいた皆さんに心から感謝します(山岡光広)。



甲賀市でも懸案になっていた「病児保育」が来年4月から実施されることになりました。

### 甲賀市でも「病児保育」実施へ

病児保育は、現在「病後児保育」を実施している水口子育て支援センター三階で。施設を改修し、保育士を増員して対応する予定ですが、医師は地域の医師と連携。併設ではありません。